



第二中学校学校だより

4月25日  
(火曜日)

2023(令和5)年度版

編集 発行  
六ヶ所村立第二中学校  
発行責任者 天間朋昭  
〒039-3215  
青森県上北郡六ヶ所村  
大字倉内字湯沢112-1  
電話 0175-75-3141

# 新生活はじまる

## 講堂に響く元気いっぴいの声

4月7日、本校講堂(体育館)において、第28回入学式・一学期始業式が開かれました。来賓、ご家族、上級生に見守られながら、新入生25名の名前が読み上げられました。

今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策のため、来賓は六ヶ所村教育委員会教育委員齋藤夢子様、在校生保護者代表の立花征士様のお二人のみとさせていただきますました。

ていただきました。

新入生は、あいにくの小雨の中でしたが、保護者と一緒に元気に初登校しました。また、練習時間が十分に確保されている



卒業式とは違い、入学式は限られた練習時間で本番に臨むことになりませんが、新入生とは思えない立派な態度で臨み、元気な返事が講堂に響いていました。

式典では、来賓の齋藤夢子様から新入生に対して、「大人になつた時に、中学校での3年間が一番楽しかったと思いつてほしい」との教育長橋本博子様からの祝辞を伝えていただきました。また、在校生保護者代表の立花征士様からは、「小学校に比べて中学校では、勉強が難しくなつたりするが、体育祭や二中祭など楽しい行事もある。部活動では、たくさんさんの思い出をつくってほしい」との祝辞をいただきました。

歓迎のことば

在校生代表 柳田祐月さん

緊張が自分にとってマイナスイメージばかりではない。人は真剣に向き合っているからこそ緊張をする。その緊張を自信に変えるために、楽しみなことにも苦手なことにもチャレンジして

### 二中からのお知らせ

本校では、学校ホームページ(<http://www.rokkasho-ed.jp/danchu/>)に、本誌面を掲載していきたいと考えております。年度はじめに掲載についての確認をさせていただきます。なお、写真や名前など個人情報の掲載についてご意見等がありましたら学校までご連絡ください。

誓いのことば

新入生代表 石岡咲生さん

ほしい。つまづくことがあったら、周りの仲間や先輩に相談してほしい。社会に出るときのために必要な力を身に付けるためには、「行事」をおして色々な面で成長することが大切。中学校ではたくさんさんの行事があるが、どれも生徒が主体となって企画や運営を行っている。一生ものの経験となるような行事を全校生徒で創り上げよう。大人への準備期間とも言える中学校生活には、将来へのヒントがたくさんある。失敗を恐れず、限られた時間でたくさんさんの経験をしよう。(一部抜粋)



校長式辞は2面です

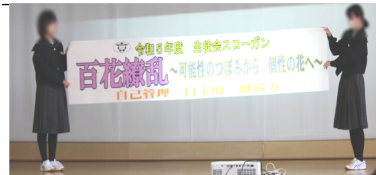


授業の内容が難しくなることに不安を感じるが、日々の予習や復習に力を入れ、少しずつ慣れていきたい。体育祭や二中祭、部活動と楽しみにしているものも多い。楽しみなことも、辛い苦しいことも、小学校で学んだ「みんなと協力し、何事も最後まであきらめずに取り組む」ことを生かし、新しい仲間とともに、中学校生活を有意義なものにしていきたい。(一部抜粋)

## 生徒会オリエンテーション

### 百花繚乱、可能性のつぼみから個性の花へ

4月10日、本校講堂(体育館)において、生徒会によるオリエンテーションが行われました。生徒会長柳田祐月さんのあいさつに続き、生徒会役員の紹介、そして、生徒会スローガンの発表がありました。スローガンは「百花繚乱、可能性のつぼみから 個性の花へ」重点項目として「自己管理 自主的継続力」が示されました。その後、各委員長の紹介に続き、生徒



徒心得や基本的な生活習慣等について、実演を交えながら分かりやすく説明がありました。また、校訓についての説明もあり、一年生はもちろん、全校で共通理解できた有意義な時間となりました。

### 新任職員紹介

入学式が行われた7日の午前中に新任式が行われました。新任の職員は次のとおりです。

校長 天間 朋昭

3年ぶりの六ヶ所村勤務になります。新任式の時の生徒の皆さんのあいさつや姿勢、態度がすばらしく感動しました。これからもよろしくお願ひいたします。(三沢市立第二中学校から)

教務主任 田中 智則

六ヶ所村は初めての勤務になります。学校も落ちついていて、地域もすばらしいので穏やかに過ごしていければと思います。よろしくお願ひいたします。(東北町立上北中学校から)

### お礼

平沼平安寺の葛西満永様から図書費を寄付していただきました。子どもたちの読書活動に大切に活用させていただきます。ありがとうございます。



庄内自治会長五十嵐洋臣様、千歳交通安全母の会様から雑巾を寄贈していただきました。清掃活動に大切に活用させていただきます。ありがとうございます。

### 5月のおもな行事

- 5月2日(火) 内科検診
- 5月8日(月)~15日(月)家庭確認
- 5月11日(木) 尿検査
- 5月20日(土) 体育祭(雨天時休み)
- 5月21日(日) 体育祭予備日(雨天時体育館)
- 5月22日(月) 交換休業日
- 5月28日(日)~テスト前部活動休み
- 5月31日(水) 一学期中間テスト

5月の前半~中盤は体育祭の準備と実施、後半は中間テストがあります。部活動では、6月の中体連夏季大会に向けた練習が行われます。「計画」と「生活のリズムを整えること」が5月のポイントになります。ご家庭におかれましてはお子様のサポートをよろしくお願いいたします。

2学年担任 佐久 義典

2年ぶりに二中に戻ってきました。また二中で勤務できることを大変うれしく思います。新たな気持ちで子どもたちと過ごしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。(十和田市立三本木中学校から)

教育支援員 橋本 由美

生徒の皆さんが安心して充実した学校生活を過ごせるようにサポートしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。(六ヶ所村立南小学校から)

校長式辞

春の息吹を感じられるこの佳き日に、ご来賓をはじめ保護者の皆様のご臨席を賜り、六ヶ所村立第二中学校入学式を挙行できますことを職員一同、心から感謝申し上げます。

さて、25名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を、心から歓迎いたします。

先ほどの元気のある返事から、中学校生活を頑張ろうとする決意を感じ、大変心強く思います。本校には、皆さんの入学を心待ちにしていた、頼もしい2年生、3年生の先輩がいます。安心して学校生活を送ってください。そして、今の気持ちや決意など、初心を忘れることなく充実した3年間を送ることを願っています。

さて、ここで、新しい学校生活を送る上で、特に大切にしたいことをお話しします。

かつて、中国で春秋・戦国時代といわれる時代がありました。国同士の争いが続いていた時代です。その中で、どうすれば、争いがなくなるのかを真剣に考えていた人物がいました。2年生、3年生はすでに歴史の授業で学んだと思います。新入生のみなさんも、習いますので、覚えておいてください。その人物の名を孔子といいます。

孔子は、世の中の乱れは、「他人を思いやる気持ち」が失われてきたからではないか、だから、一人一人が思いやりの気持ちを持つことが大切なのだと考えました。自分の立場ばかりではなく、他の人の立場にもなって考える。孔子はこれを「仁」ということばで表しました。そして、この「仁」のもとに

なっているのが、家族がお互いを大切にしようとする気持ちと考えた。家族と同じように、他の人を大切にできたら、対立や争いは起こらないだろうと考えたのです。

しかし、目に見えない心の中を相手に伝えることはかなり難しいことです。孔子は、心の中心を相手に伝える「形」にしたものを「礼」といいました。今では、「礼儀」「お礼」などでこの「礼」ということばが使われています。世の中が良くなるには、「仁」と「礼」が必要であると考えたのです。

しかし、「心」がこもっていない形ばかりの「礼」はどうでしょうか。孔子は、「仁」がない「礼」は不十分であり、また「仁」があっても、それが「礼」として表れなければ、不十分だと「仁」と「礼」の両方を兼ね備えることを理想としました。

いわば、「仁」と「礼」は表裏一体、コインの表と裏とも考えられます。

中学校では、仲間と関わりを持ちながら、さまざまな行事や活動をつくりあげていきます。新入生のみなさん、どうぞ人と人のかかわりの中で大切な「相手の立場になって考える心」と「それを相手に伝える形とすること」を意識して生活してください。

みなさんがすでに行っている「元気の挨拶」や「ありがとう」がどうも「仁」と「礼」といいます。この一つともいえます。また、この式典でも何回か「礼」の場面がありますので意識してみてください。

本日は、新学期の始業式でもあります。2年生、3年生のみなさん、これから学校の中核として、お互いの良さを生かし合いなから、ますます活躍してください。

とを期待しています。結びになりますが、保護者の皆様方、改めましてお子様の入学、誠におめでとうございます。お子様の望ましい成長と自立に向けて、ご家庭そして地域の皆様と、手を携えながら教育活動を進め、「二中」に入学して、本当に良かった」と思っていただけのように、教職員一同、精一杯努力をしまいたる所存です。で、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。令和五年四月七日

六ヶ所村立第二中学校 校長 天間 朋昭

職員一覧



校門からみた校舎の写真を撮ってみました。子どもたちが毎日、この校門を笑顔で通つてくれることが願いです。しかし、時には悩んだり、壁にぶつかる日もあると思います。本校職員は、皆さんと真剣に向き合い、一緒に考えます。どうぞ、気軽に声をかけてください。また、保護者の皆様、何かありましたら、ご遠慮なさらずに学校までご連絡ください。卒業式の日には、一人一人がこの校門から笑顔で巣立つてくれることを職員一同願っています。令和5年度の職員一覧は左の表のとおりです。一年間どうぞよろしく願います。

学校だよりを発行するにあたって、学校の様子を「家庭や地域の皆様に発信することはもちろん、子どもたちにも何か興味をもってもらえる情報発信ができないか考えました。日本各地には今日まで守り伝えられてきた古い建物や美術品、景観、生活や習わしなどが「文化財」として保護されているものがあります。このコラムでは、日本各地の「文化財」を、実際に撮影してきた写真とともに紹介していきたいと思えます。

第一回は、お隣、岩手県の世界遺産「平泉」です。現在、中学生のみなさんが勉強している歴史の教科書では、「前九年合戦」、「後三年合戦」の語句とともに、



「東北地方では、平泉(岩手県)を拠点に成長した奥州藤原氏が力をもちました。」という文章がみられます。文化庁のホームページでは、平泉を「仏教に基づく理想世界の実現を目指して造営された政治・行政上の拠点」と紹介しています。平泉で拔群の知名度を誇るのは、中尊寺の金色堂です。藤原清衡が造営したとされる金色堂は、保存のために全体が覆堂で覆われ、室内もガラス越しの見学となりますが、「皆金色」と

日本の文化財① 平泉の文化

「東北地方では、平泉(岩手県)を拠点に成長した奥州藤原氏が力をもちました。」という文章がみられます。文化庁のホームページでは、平泉を「仏教に基づく理想世界の実現を目指して造営された政治・行政上の拠点」と紹介しています。平泉で拔群の知名度を誇るのは、中尊寺の金色堂です。藤原清衡が造営したとされる金色堂は、保存のために全体が覆堂で覆われ、室内もガラス越しの見学となりますが、「皆金色」と

中尊寺から徒歩10分ほどで「高館義経堂」につきます。こは、源頼朝に追われ、藤原泰衡によつ

追いつまされた源義経が自害したと伝えられています。また、中尊寺から車で10分ほど「達谷窟毘沙門堂」に到着します。崖の下につくられたようなお堂で、それだけでもインパクトが強いのですが、西側には、崖に彫られた「岩面大仏」(顔の長さ3.6m)をみることもできます。

次回は、義経と奥州藤原氏を滅ぼした源頼朝の本拠地「鎌倉」をみてみたいと思えます。

野野原 平泉の文化

Table with 5 columns: 職名/担任等, 氏名, 授業教科, 部活動, 生徒会. Lists school staff and their roles.